

27.  $^{99m}\text{Tc}$ -MIBI による甲状腺癌転移巣の検索

原田 義弘 中川 富夫 佐藤 修平  
 赤木 史郎 栄 勝美 清水 光春  
 竹田 芳弘 上者 郁夫 平木 祥夫  
 (岡山大・放)

分化型甲状腺癌の転移巣検索における  $^{99m}\text{Tc}$ -MIBI の有用性について検討した。対象は転移巣を有する分化型甲状腺癌 6 例で、組織型は乳頭癌 3 例、濾胞癌 3 例である。転移部位はリンパ節、骨、肺である。 $^{99m}\text{Tc}$ -MIBI (600 MBq) 静注後 10 分より全身像とスポット像を撮像した。 $^{131}\text{I}$  および  $^{201}\text{Tl}$  による病変の検出能と比較した。骨転移巣、リンパ節転移巣は良好に検出された。びまん性肺転移巣は MIBI での評価は困難で、 $^{131}\text{I}$  シンチによる検出が容易であった。 $^{99m}\text{Tc}$ -MIBI はヨード制限なしに転移巣の検出が可能で、 $^{201}\text{Tl}$  とほぼ同等の検出能を持っており有用と考えられた。

28. 結節性甲状腺腫の鑑別診断における  $^{201}\text{Tl}$  と  $^{99m}\text{Tc}$  の 2 核種シンチグラフィの有用性に関する検討

奥村 能啓 清水 光春 佐藤 修平  
 新谷 直道 原田 義弘 新屋 晴孝  
 竹田 芳弘 平木 祥夫 (岡山大・放)

$^{201}\text{Tl}$  と  $^{99m}\text{Tc}$  の 2 核種甲状腺シンチグラフィを行い、手術にて組織診断が確定した結節性甲状腺腫 59 病変を対象とし、良・悪性の鑑別における 2 核種シンチグラフィの有用性について retrospective に視覚的スコアにより検討した。 $^{201}\text{Tl}$  初期、後期ともに高集積のものに悪性が多く、初期、後期のスコア変化を併用することで診断精度が向上した。 $^{99m}\text{Tc}$  単独では良・悪性の鑑別は困難であった。また、 $^{201}\text{Tl}$  初期、後期のスコア変化により、follicular ca. と papillary ca. の鑑別がある程度可能と考えられた。